



# 吉子川



令和7年11月19日(水)  
学校だより NO. 48  
中島村立吉子川小学校  
発行責任者 校長 木戸美智子

## 【めざす児童像】

○あかるく たくましい子ども (体)  
○やさしく おもいやりのある子ども (徳)  
○めあてをもって がんばる子ども (知)

## 【よしコッピ】

吉子川小学校  
のあやめの花に  
住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの  
十か条 (11月)

力を合わせてみんなで前進  
仲間がいるから頑張れる

## ◇ 非認知能力って何? ～ 非認知能力を鍛えよう! ～ ◇

非認知能力とは、忍耐力や社交性、自尊心など幅広い力や姿勢を含み、学歴や仕事など将来の成功の支えとなるものとして、世界的に注目されている力です。ふくしま学力調査でも重視されている力です。もう少し具体的にいうと、「非認知能力」とはテスト結果など数字で表せる認知能力とは違い、**誠実さ・自制心・忍耐強さ・社交性・やりぬく力**のことです。これらのキーワードを見ると、**人として身に付けてほしい大切な力**であると理解していただけたと思います。

最近の研究で、この「非認知能力」が学力を向上させたり、人生を成功に導いたりすることが分かってきましたので子どもたちにぜひ付けたい力です。「非認知能力」の中でも、特に重要な二つの力として、**「自制心」と「やりぬく力」**

が指摘されています。「自制心」については、スタンフォード大学のマシュマロ実験が有名です。168人の子どもたちにマシュマロが差し出され、すぐ食べれば1個、もう一度大人が入ってくるまで待てば2個もらえるよう告げられます。結果、168人のうち2/3の子どもは、がまんできずに1つ食べてしまいました。1/3だけの子が15分がまんして2個のマシュマロを手に入れました。興味深いのはその後の追跡実験の結果です。

### マシュマロテスト (1960年代)



彼らが高校生になった時、がまんできずに1個のマシュマロを食べてしまった子より、**がまんして2個手に入れた子どもの方が、大学入学テストのスコアがずっと良かった**のです。

では、「自制心」と「やりぬく力」は、どうしたら高まるのか。この2つは、日々鍛えることができる能力です。**細かく計画を立てる・記録する・達成度を自分自身で管理することで鍛えられます**。そういえば以前、「レコーディング・ダイエット」というダイエット法が流行りました。記録することで「自制心」と「やりぬく力」を高めたからです。

学力が自分で勉強して身に付くものだとすると、非認知能力は誰かに教わらなくては身に付かないもの。学校で先生・友人とふれ合う、部活動や課外活動を通じて異学年・大人とふれ合うなど**人間関係の中で培われる能力**です。さらに、小学生では**規則正しい生活(決まった時間に起きて寝るなど)**で自制心を鍛えることができるそうです。他にも**毎日背筋を伸ばすよう実践させるだけで将来の成功に関わる非認知能力が育つ**という研究結果が出ています。(やっぱり「早寝・早起き・朝ごはん」「凡事徹底」なんですね。)

子どもの学力を伸ばすためにその分かれ道になるかもしれない大人の子どもへの関わり方。学校も家庭も地域も**子どもが意欲をもてるようにサポート**することができたらいいなと思います。

## ◇ インフルエンザ流行の兆し ◇

近隣の学校で学年閉鎖が急増している中、とうとう吉子川小学校でも流行の兆しが見られるようになりました。「頭痛や喉の痛みを訴えた数時間後に発熱。発熱後すぐの病院受診では陽性反応はない」と聞いてます。ぜひ、登校前の検温と体調確認を丁寧に行ってください。集団感染となり学年閉鎖、休校とならないよう、各家庭の責任で登校させてくださいますようお願いいたします。学校でも時間を決めて、きめ細やかに体調確認しています。体調不良者は様子を見ず、積極的に早退させるようにしています。**全校生を守るための取り組みです。ご協力をよろしくお願いいたします。**

